公共イメージ委員会

公共イメージ委員会　委員長　須田　礼子（本庄RC）

2025-2026年度　国際ロータリー　デ・カマルゴ会長 メッセージ
Unite for Good ～よいことのために手を取りあおう～

【基本方針】

2025-2026年度のRI会長掲げておられるメッセージ『手を取りあうこと』のできる地区にするために、そして坂口孝ガバナーの『クラブ強化・クラブ活性化』という思いに沿うため、公共イメージ委員会としてできることは何かを考えました。

会員の行動や、クラブが実施する活動とそのインパクトによってロータリーの公共イメージは形作られます。

我々第2570地区では、46クラブがそれぞれ奉仕活動を行っています。まずは地区がそのクラブの情報を吸い上げ、各クラブと接点をもつことが第一と考えます。クラブのことを把握し、初めて外部へその活動内容をより良いカタチで発信することができるのではないかとも思っております。

クラブ同士を風通しの良い強いパイプでつなげることが、2025-2026年度の公共イメージ委員会の大きな役割だとも思います。**クラブ同士が『手を取りあい』『活気を分かち合い』**刺激しあうことが2025-20026年度の当委員会の方針です。

【活動計画】

1．各クラブの『奉仕活動』や『地域に根ざした活動』の把握と応援、またその情報整理
2．各クラブの情報を地区から外部へ発信する仕組みづくり
3．地区がネットワークハブとなり、クラブ同士が「他のクラブの活動を知る」場をつくる